
悪夢の天気予報

ムラタダイスケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪夢の天気予報

【Nコード】

N5155I

【作者名】

ムラタダイスケ

【あらすじ】

とある×チャンネルで深夜2時にやっている天気予報があった。

そう天気予報にはうわさがあった。

それは絶対にあたるというものだった。

興味があったので半信半疑で見てみた。

そう、これが悪夢の始まりだったとも知れないで・・・

うわさ

「つめてー！なんだ？うわつ、雨かよ、天気予報では晴れって言うってたのによ」

坂井はかなりイラついていた。

するとその会社の後輩の高木は

「まーまーそんなにイラつかないでくださいよ」

「ふんつ、いいよなお前は傘持ってきてて」

「じゃあ、僕が傘を持ってきた理由教えてあげましょうか？」

どうせ偶然だろうと思ったが興味があったので聞いてみた。

「何でだよ」

軽く怒り気味で聞いたらあやしげに答えてきた。

「実は・・・絶対にあたる天気予報があるんです」

「俺をからかってんのか！」

かなり怒り気味で言うと

「嘘じゃないですよ！嘘だと思っなら深夜2時に×チャンネルのニ

ュースを見てみてください。

嘘じゃないって分かりますから！」

「誰が見るか！」

こう言ったものの少し興味があつた。

なので今日の夜に見てみることにした。

天気予報

9月24日午前1時55分

坂井は静かにテレビ画面を見ていた。

そして2時になり天気予報が始まった。

『こんばんは。午前2時になりました。ミッドナイト天気予報です。明日は全般的に晴れますが関西地方は午前はくもりになります。ではまた明日』

「……なんだよこれ。かなり適当じゃねえか！ふざけんな！

それにちがう天気予報では明日は雨って言ってたぞ！

俺は傘を持っていくぞ！

と、ひとりでテレビに向かって怒っていた。

次の日の朝、坂井の住んでいる大阪府はくもりだった。

今日の夜の宣言どおり傘を持っていった。

ところが昼になるとからりと晴れた。

マジかよ……

すると隣から

「ねっ！あつたたでしょ！」

高木がいきなり聞いてきたのでビクツとした。

「な、なんの話だよ！」

「見たんでしょ？天気予報！もういいじゃないですか。」

「……」

坂井は答えることができなかった。

「今日も見ましようね！天気予報」

「チツ、分かったよ！見ればいいんだろ！見れば！」

それを聞いて高木は不気味にニヤついた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5155i/>

悪夢の天気予報

2010年10月17日01時48分発行